

国際シンポジウム「文化における身体」プログラム

日 時 2011年11月19日(土) 9:00-18:20

主 催 輔仁大学日本語文学科、進修部日本語文学科

共同主催 行政院国家科学委員会、教育部、日本交流協会、輔仁大学研究發展処、輔仁大学外語学院

場 所 輔仁大学聖言楼1階(台湾・新北市新莊区中正路510號)

8:30-9:00	受付		
9:00-9:10	開幕式 輔仁大学学長：黎建球、外国語学学部長：黄孟蘭、交流協会文化室主任河野明子		
9:10-10:00	基調講演 司会：頼振南(輔仁大学日本語文学科教授) 大嶋仁(福岡大学人文学部教授)：日本人の身体観		
	第一会場(日本語：通訳あり)	第二会場(午前：日本語/午後：中国語)	第三会場(日本語：通訳あり)
1. 10:10-11:10	座長 陳明姿(台湾大学日本語文学科教授) 相田満(国文学研究資料館研究部・総合大学院 大学准教授)：人間観察から生まれた観相の もたらした文化と言説 申基東(江原大学校人文社会大学日本語学科教 授)：芥川龍之介における身体—「鼻」を中 心として—	座長 頼錦雀(東呉大学日本語文学科教授) 小針浩樹(輔仁大学日本語文学科助理教授)：言語 行為の諸相 陳姿菁(開南大学応用日本語・デジタル応用中国 語学科助理教授)：身体感覚を言語化する TAE 理論の実践—「自分の話したいことを言語で 表現する」会話授業の試み	座長 邱若山(静宜大学日本語文学科副教授) 石川隆男(台湾大学日本語文学科非常勤講師)： 異国情調文学に見る身体が生み出した傾向 横路啓子(輔仁大学日本語文学科助理教授)：操 られる身体—1940年代台湾の体操と文学 —
2. 11:10-12:10	座長 黄錦容(政治大学日本語文学科教授) 范淑文(台湾大学日本語文学科副教授)：田能村 竹田の文人画にみる個と社会の関係—身 体論の視点による試み 加藤孝男(東海学園大学人文学部教授)：日本人 の身体観—シンボルとしての柳、桜—	座長 楊錦昌(輔仁大学日本語文学科副教授) 三田明弘(日本女子大学人間社会学部文化学科准 教授)：『法苑珠林』説話にみる仏教的身体観 蔡明興(国立台北大学応用外国語学科副教授)：日 本人の目とロシア人の目—比較文化言語学か ら見た身体語彙慣用句—	座長 齋藤正志(中国文化大学日本語文学科副 教授) 張龍妹(北京外国語大学教授)：和泉式部の和歌 における身体表現 中村祥子(輔仁大学日本語文学科副教授)：面影 の「声」と孤独の「手枕」—和泉式部日記

			における「声」と「手枕」—
12:10-13:10	昼食		
3. 13:10-14:10	座長 曾秋桂 (淡江大学日本語文学科教授) 金城ふみ子 (東京国際大学経済学部教授): 有島武郎の作品における身体表現の計量分析— —初期の短編作品「An Incident」—— 黄翠娥 (輔仁大学日本語文学科教授): 戦前の中国旅行記における身体	座長 范淑文 (台湾大学日本語文学科副教授) 李征 (復旦大學外文学院副教授): 斑点之轻与婚姻之重: 谷崎润一郎《细雪》中的身体表现 王綉線 (明道大学応用日本語学科講師): 芥川龍之介「河童」における身体と空間	座長 岡部明日香 (慈済大学東方語文学科助理教授) 佐藤敬子 (元横浜市立大学看護短期大学非常勤講師): 歌物語の身体性—伊勢物語の女性美像、二段の女と空蟬、花散里— 陳文瑤 (大葉大学応用日本語学科助理教授): 『今鏡』藤原教通が冬の束帯に半臂を着る逸話に隠された意味—「身体表現」という視点から—
4. 14:10-15:10	座長 太田登 (台湾大学日本語文学科教授) 横路明夫 (輔仁大学日本語文学科副教授): 金井美恵子「兎」論——二重感覚のイリンクス (めまい)—— 中村三春 (北海道大学言語文学専攻映像・表現文化論講座教授): 1950年代日本文芸映画における身体	座長 劉慶瑞 (輔仁大學日本語文學系副教授) 張榮富、吳秀娟、彭湘婷 (國立台北教育大學社會與區域發展學系副教授及兩位碩士生): 比較台灣與日本男女大學生對女性完美體形的偏好差異 許孟蓉 (輔仁大学日本語文学科副教授): 日本如何提昇學童體力—以日本小學體育課為例—	座長 坂元さおり (輔仁大学日本語文学科助理教授) 沈美雪 (中国文化大学日本語文学科助理教授): 俳人渡辺美鳥女の句境—「身体」「病」「障害」を手掛かりに— 落合由治 (淡江大学日本語文学科教授): 『台湾日日新報』の掲載広告に見る身体性
15:10-15:30	休憩		
5. 15:30-16:30	座長 中村三春 (北海道大学言語文学専攻映像・表現文化論講座教授) 齋藤正志 (中國文化大学日本語文学科副教授): 生命の創造と身体—川上弘美「物語が、始まる」と竹取物語、そしてゴーレム— 曾秋桂 (淡江大学日本語文学科教授): 村上春樹『1Q84』における天吾と青豆の身体的渴求	座長 陳炳崑 (世新大學日本語文學系教授) 鄧名韻 (元智大学応用外語学科副教授): 異境中的身體異化—《神隱少女》與《愛麗絲漫遊奇境》的比較 鄭印君 (輔仁大学宗教学科助理教授): 擬像／鏡像與癡狀: 《攻殻機動隊 2-Innocence》の身體論述與後主體倫理性	座長 中村祥子 (輔仁大学日本語文学科副教授) 頼振南 (輔仁大学日本語文学科教授): 日本平安時代物語文学における求婚の変奏曲——女性の身体の自由を奪う「略奪婚」譚について—— 岡部明日香 (慈済大学東方語文学科助理教授): 秋好中宮の存在と身体—源氏物語の後妃の

	——プラトンのアンドロギュノスをベースに——		描写からの考察——
6. 16:30-17:30	座長 黄翠娥（輔仁大学日本語文学科教授） 坂元さおり（輔仁大学日本語文学科助理教授）： 桐野夏生『メタボラ』論—「非・男性ジェンダー化」された語り手の身体、記憶、そして家族—— 坪井秀人（名古屋大学文学研究科教授）：食べる身体／食べられない身体——摂食障害とマンガ・文学	座長 何思慎（輔仁大学日本語文學系教授） 施建軍（北京日本学研究中心教授）：关于汉、日语“手”复合词中“手”的语义扩展差异的考察——以具有方位、物含义的二字汉字词为中心 楊瑞松（政治大学歴史学科副教授）：身體與國族：日本做為近代中國集體身體加害者的論述與想像	座長 横路明夫（輔仁大学日本語文学科副教授） 王盈文（中華大学応用日本語学科助理教授）：身体をめぐる見る／見られる——太宰治「美少女」論—— 廖秀娟（元智大学応用外国語学科助理教授）：太宰治「佳日」論—〈禿げ〉を一視点として—
17:30-18:10	全体討論 司会：頼振南 パネリスト：大嶋仁、中村三春、申基東、張龍妹、陳明姿、黄翠娥		
18:10-18:20	閉会式：あいさつ 頼振南		